

第42回 BSN高等学校剣道選手権大会

第30回 全国高等学校剣道選抜大会 新潟県予選会

第30回 庄川清流杯北信越高等学校剣道新人大会 新潟県予選会

### 開催要項

- 1 主催 BSN新潟放送 新潟県剣道連盟
- 2 共催 新潟県高等学校体育連盟
- 3 後援 新潟県学校剣道連盟
- 4 主管 新潟県高等学校体育連盟剣道専門部
- 5 日時 令和3年1月9日(土)・10日(日)(開場は両日とも7:00)  
9日(土) 9:00 審判、監督、代表者会議  
9:40 開始式  
10:00 試合開始  
個人戦(決勝まで)  
団体戦(ベスト8まで)\*18:00打ち切り  
10日(日) 8:30 審判打ち合わせ  
8:50 試合開始  
団体戦(決勝まで)  
15:30 閉会式(簡略)
- 6 会場 「鳥屋野総合体育館」  
〒950-0144 新潟市中央区神道寺南2丁目3-46 ☎025-241-4600
- 7 出場資格 ・平成14年4月2日以降に生まれた県下の高等学校1・2年生で、新潟県高体連の定める大会参加資格を有する者。  
・個人戦の出場者は、各地区大会ベスト8の選手及び、代替大会上位4校の校数×2名とする。  
(出場枠は試合運営の状況によっては変更の可能性もありうる)  
・団体戦は登録選手7名とし、フリーエントリーとする。  
・団体戦の申し込み人数が5人に満たない場合、上位大会の出場権利を有してもそれを辞退するものとする。  
・少人数のため、団体戦に参加できない学校については、強化部で混成チームを編成し、出場できることとする。(地区大会で個人の出場枠を獲得していても出場できる。)混成チームについては、3~4名で編成し、5名いる学校と対戦することを基本とする。  
・定通部の参加も認める。
- 8 試合方法 **【暫定的な試合・審判の方法】**
  1. 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは暫定的な試合・審判法を感染状況等を踏まえながら大会実施要項に定める。
  2. 試合時間の短縮、延長戦は区切って行い休憩を取り入れる等、マスク着用による熱中症対策を取り入れる。
  3. 全剣連ガイドラインに従い、試合者は、鏝迫り合いを避ける。やむを得ず鏝迫り合いとなった場合は、すぐに分かれるか引き技を出し、掛け声は出さない(引き技時の発声は認める)。審判員は鏝迫り合いを解消しない場合は、ただちに「分かれ」を宣告する。
  4. 審判員の試合場への入退場の際は、1メートル以上の間隔を空けて行い、副審は試合開始線の外側を通り定位置まで進む(別添1)

5. 合議は1メートル以上の間隔を空けて行う。(別添2)
6. 試合終了後に当該試合の反省を行う場合は、1メートル以上の間隔を空ける。
7. 審判員は、試合時マスクを着用する。また、各自の審判旗を持参して使用する。  
各試合会場の審判員控席にアルコール除菌液を設置し、手指消毒を行う。

- ・試合は、すべて全日本剣道連盟試合規則並びに審判規則に従って実施する。  
試合時間は、全国高等学校体育連盟剣道部及び新潟県高等学校体育連盟剣道専門部申し合わせ事項に準じて実施する。

(以降変更の可能性あり)

- <団体戦>
- ① 5名の勝者数法による。また、すべてトーナメント方式で行う。
    - ・女子は、全国高等学校剣道選抜大会に上位2校が出場できるため、上位4校でリーグ戦を行い、順位を決定する。
    - ・男子は、庄川清流杯北信越高等学校剣道新人大会に上位6校が出場できるため、準々決勝で敗退したベスト8進出校でトーナメント戦を行い、順位を決定する。
  - ② 試合時間は4分とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。  
代表者戦において、試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本とったものを勝ちとする。延長戦の試合時間は、4分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦2回ごとに「深呼吸」・「給水」の休息・休憩を繰り返す。
  - ③ 登録選手によるオーダーの変更は試合ごとに認める。
    - \* 5人のチームが3～4人のチームと対戦する場合は、自チームの試合をさせたいポジションに印をつけ、提出する。
    - \* 5人に満たないチームは先鋒から詰めて記入し、提出する。  
なお、オーダー表の提出は前の試合の次鋒戦終了までとする。  
ただし、各試合場第1試合のオーダー表は個人戦終了までにオーダー表提出所に提出すること。

- <個人戦>
- ① 試合時間は4分、延長戦は団体戦(代表者戦)に準ずる。  
(試合時間は試合運営の状況によっては変更の可能性もあり得る)
  - ② すべてトーナメント方式で行う。

- 9 申込方法 高体連剣道専門部より必要な書類をダウンロードし下記アドレスにメールにて申し込むこと。  
また、メールと同時に印刷した書類(下記「提出書類①～③」)を下記住所まで送付してください。封筒に『BSN剣道大会参加申込書在中』と朱書すること。

＝提出書類＝

- ①参加申込書(職印有り)      ②オーダー表(印刷したもの)
- ③個人情報等の公表に同意が得られない生徒名簿(職印有り)

＝参加申込先＝

〒950-0116 新潟市江南区北山1037

新潟明訓高等学校 「金山 尚弘」宛 [【N-kanayama@niigata-meikun.ed.jp】](mailto:N-kanayama@niigata-meikun.ed.jp)

TEL 025-257-2131 FAX 0250-24-6340

- 10 申込締切 **令和2年11月25日(水) 必着**
- 11 抽選会 日時 令和2年11月30日(月) 9時30分から専門委員会で行う。  
会場 新潟明訓高等学校 4F 講堂
- 12 表彰 団体戦、個人戦共に3位まで表彰する。
- 13 参加料 団体戦1チーム      5,000円  
混成チーム出場者    1人500円      \*大会当日受付に納入のこと。  
個人戦のみ出場者    500円      \*大会当日受付に納入のこと。

(団体戦と個人戦を兼ねる者は、団体戦出場者とする。)

#### 14 感染防止対策

- ア 大会参加については、学校ごとの判断とし校長の許可を得る。また、大会への参加については、生徒及び保護者の意向を尊重し、参加を強制しないこと。
- イ 大会に参加する場合は必要に応じ保護者からの応諾書をとるなどをして参加の意思を確認してください。(大会本部に提出の必要はありません。)
- ウ 大会当日5日前より体調管理に努め体温測定を行い体温記録票に記入する。  
また、体温記録票の裏面に、大会当日チェックシート(高体連様式2)を印刷し、併せて記入のうえ、試合当日、受付時に提出すること。
- エ 大会本部で消毒液等を準備し、会場内、用具物品の消毒の徹底を図る。
- オ 選手は、全日本剣道連盟の感染拡大予防ガイドラインを基に、面マスクを着用のうえ、対人稽古・試合を行う。  
\*面マスクは剣道用と限らず市販されている物や、全剣連が示しているような手拭いで作成した物を指す。  
\*面マスクの装着は必須とする。アイガードについては任意とする。
- カ 選手(生徒)は、対人稽古・試合時以外でも、マスクを着用すること。
- キ 役員、審判員はマスクを準備すること。
- ク 定期的な換気を行う。
- ケ 保護者の入場観戦は今後の状況を見て判断する。

#### 15 その他

- ・本大会は、令和2年度全国高等学校剣道選抜大会、令和2年度庄川北信越高等学校剣道新人大会の新潟県予選会および令和3年度国民体育大会少年の部の第一次選考会を兼ねる。また、男女個人戦優勝の選手を令和3年度全日本都道府県対抗剣道優勝大会の選手とする。
- ・竹刀の計量は、  
8日(金) 15:00 ~ 17:00  
9日(土) 7:30 ~ 個人戦終了まで  
10日(日) 8:00 ~ 11:00 本部席脇  
2F検量場で男子・女子指定の場所で行う。その際、待っている間も隣との距離を保つこと。  
尚、検印のない竹刀を使用した場合は失格とする。
- ・団体戦において選手の変更が生じた場合、所定の用紙に記入し学校長の許可を得て1月9日(土)の審判・監督者会議までに大会本部へ届け出ること。
- ・選手は「名札」に校名・氏名を明記し、紅白の標識は各校で用意のこと。
- ・大会に参加する生徒は、必ず引率責任者が引率し、参加生徒のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- ・大会に参加している生徒の競技上の疾病および障害等の応急処置は(医師による経費は事故負担)主催者側で行うが、その後の責任は一切負わない。
- ・昨年度優勝校は、返還物を持参のこと。
- ・マイクロバスは、誘導に従うこと。
- ・更衣について  
男子は観覧席、女子は柔剣道場で隣との間隔をとり密にならないように更衣する。  
その際、貴重品の管理は各校ですること。
- ・1月8日(金)の練習について  
13:00~18:00 中体育館を練習会場として開放する。練習終了後は各校で使用した場所のモップがけをすること。